

表紙

資料7

12月10日現在

# 北区基本計画(案)

令和3年8月  
京都市北区

○市長あいさつ

○区長あいさつ

## 目次

### 1. 北区基本計画って？

### 2. どんな北区を目指す？

### 3. ライフステージごとの取組

- (1) 10のライフステージや属性ごとの取組アイデア

### 4. 取組を推進するためのリーディングプロジェクト

- (1) 北区まちづくりプラットフォーム
- (2) 6つのリーディングプロジェクト

## 参考資料

# 1. 北区基本計画って？

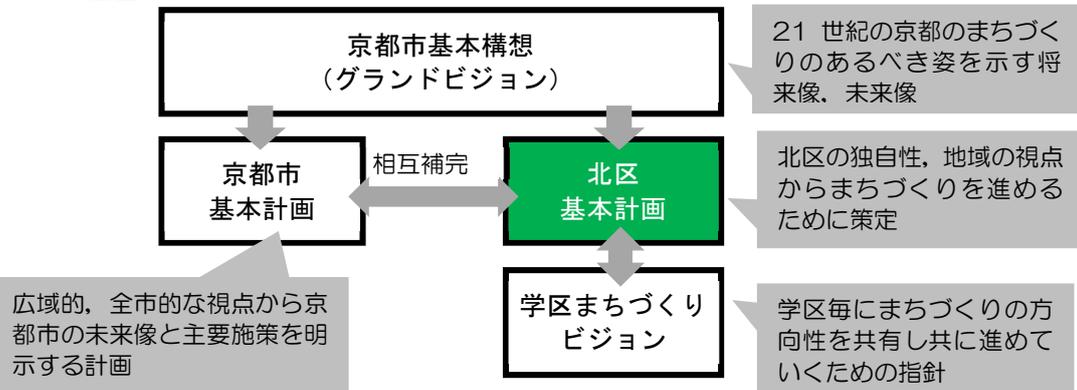
## ○計画の位置づけ

北区基本計画は、京都市基本計画と同列に位置づけられ、相互に補完しあう関係にあります。京都市基本計画は、広域的、全市的な視点から京都市の未来像と主要施策を明示する都市経営の基本となる計画です。

北区基本計画は、京都市基本計画を踏まえながら、さらに、北区の独自性、地域の視点を加えて、北区のまちづくりを進めるためのもので、北区の将来の姿や目指すべき方向性を区民の皆様と北区役所とが共有するための長期的なビジョン(指針)です。

また、学区民が自らの学区の課題や方向性を共有し、今後のまちづくりを進めていくための指針となる「学区まちづくりビジョン」の策定も進んでおり、区民の皆様が主体となった動きが北区基本計画の推進につながっています。

## ■計画の位置づけ



## ○目標年次

北区基本計画は、令和7(2025)年を目標とした5年間の計画です。

## ○策定経過

(北区民まちづくり会議、部会等の取組について記載)

「北区基本計画(令和3年度～)」の策定に当たっては、多くの北区に関わる方々にご参画いただきました。平成25年11月には、専門的な見地及び区民の立場から幅広く意見を求めることを目的として、25名の皆様からなる「京都市北区民まちづくり会議」(以下「まちづくり会議」という。)を設置し、議論を深めてきました。

平成30年度には、4回にわたる学習会を行い、当時まちづくり会議の座長及び副座長に就任いただいていた学識者の皆様から、様々なテーマで講演していただくとともに、まちづくり会議委員による意見交換を行いました。



(講演内容)

大谷大学社会福祉学部長・北区民まちづくり会議座長 志藤修史氏

“私たちの暮らしとまちづくり～人に優しいまちを目指して～”

佛教大学保健医療技術学部 教授 松岡千代氏

“災害に強いまちづくり: 共助と自助のソフトパワーと要配慮者の避難支援について”

京都産業大学現代社会学部長 藤野敦子氏

“家族って何だろう～家族観から私たちの「社会」や「社会問題」を考える”

立命館大学文学部准教授 河角直美氏

“地図を使って北区のまちの歴史を知る, 伝える”



令和元年度には、まちづくり会議の下に①高齢化部会、②人口減少部会、③防災部会、④文化・観光部会の4つの部会を設け、より実効性の高い計画策定を目指したワークショップ形式による議論を行いました。部会には、まちづくり会議の委員はもとより、北区に関わる様々な主体が参画する「北区未来につながる区民会議」の委員

の皆様や各学区で積極的に活動されている区民の皆様、北区内の4つの大学(大谷大学、京都産業大学、佛教大学、立命館大学)の学生の皆様のほか、「北区民まちづくり提案支援事業(※1)」や「北区つながるワークショップ(※2)」の参加経験者等、延べ350名の方にご参加いただき、約1,000件にも上るご意見や取組アイデアが寄せられました。

(※1)北区民まちづくり提案支援事業とは

区民の皆様の自主的・自発的なまちづくり活動を支援するため、その費用の一部を補助する事業

(※2)北区つながるワークショップとは

参加者の皆様が楽しく交流しながら、よりよいまちについてみんなで考え、行動するための一歩となる対話の場

部会名		日程	出席者数	参加者の例
単 独 部 会	人口減少部会 (部会長:藤野京都産業大学現代社会学部長)	6/25	41名	シェアハウス運営団体, SILK, 中小企業家同友会
	防災部会 (部会長:松岡佛教大学保健医療技術学部教授)	6/26	49名	地域包括支援センター, 京都ライトハウス
	高齢化部会 (部会長:志藤大谷大学社会学部長)	8/28	69名	民生委員, 老人福祉委員
	文化・観光部会 (部会長:河角立命館大学文学部准教授)	9/2	55名	能楽師, 伝統工芸, 茶道, 寺社仏閣の関係者
合同部会 ※4部会の合同開催		12/17 12/22	79名 54名	能楽師, 伝統工芸, 地域包括支援センター

令和2年度は、・・・

令和3年4、5月には、以上の取組をもとに作成した北区基本計画素案について、パブリックコメントを実施し、多くの方々からご意見やご提案をいただきました。

北区基本計画は、これまでにいただいた区民の皆様の熱い想いと新しいまちづくりへの決意をもとに、区民の皆様が主人公の計画として策定しました。



## 2. どんな北区を目指す？

### 北区が目指すまちの将来像

前計画では、北区民円卓会議、北区基本計画策定懇談会、北区基本計画策定100人委員会での討論、さらにはアンケート調査等、幅広い議論を積み重ね、将来像として「豊かな自然の恵みと伝統ある文化の中で、人々がお互いに支え合い、活力を持っていきいきと暮らすまち」を定めました。今回の計画においても、この区民を挙げた議論から生まれた将来像を引き継ぎ、その実現に向けて新たな取組を推進します。

**豊かな自然の恵みと伝統ある文化の中で、**

**人々がお互いに支え合い、**

**活力を持っていきいきと暮らすまち**

北区では、これまでの取組により、学区間の連携が一層深まり、平成27年度には区内の全18学区で構成される地域代表者会議が創設され、各学区、各種団体相互のネットワークをいかした取組が数多く実施されるようになりました。

一方、多発する豪雨による災害や少子化・高齢化のさらなる進行、新型コロナウイルスの発生など、最近顕在化した新たな課題や、社会情勢の変化があります。本計画では、そうした新たな課題に向けた取組をSDGsやレジリエンスの観点も踏まえて盛り込み、新たに13の目標を設定。行政機関、区民、関係団体が一体となって着実に推進していきます。

### まちの将来像を実現するための13の目標

SDGs  
マーク

#### 環境と共生した持続可能なまち

私たち一人ひとりが、地球全体の環境問題を意識した循環型社会の実現に向けて取り組みます。大気中に二酸化炭素など温室効果ガスが増えることによる地球温暖化が深刻化しています。持続可能な社会の実現に向けて、ごみの減量や食品ロスへの対策など、二酸化炭素の排出を減らす取組を通じて、環境にやさしいまちづくりを推進していきます。

#### ●主な取組

##### 子ども服リユース事業

不要になった子ども服や絵本を収集し、必要とする家庭に無償で譲渡する「ニコニコ北っ子子ども服リユース☆事業」。



## 豊かな自然環境と共存するまち

豊かな自然環境を北区固有の地域資源として、皆が誇りと親しみを持って大切に保護し、次世代に継承していきます

自然豊かな山林があり、北山の山並みや北山杉の美林景観が見られるほか、まちなかでも鴨川や天然記念物に指定されている深泥池生物群集の水辺環境、森林浴が楽しめる船岡山など身近に触れられる自然があります。

豊かな自然に恵まれた環境との調和に配慮しつつ、安心して住み続けられる環境づくりを進めます。

### ●主な取組

#### 北山三学区ホームページ(移住促進の取組)

移住希望者向けに、市内中心地域から山間地域まで、京都で暮らす魅力を発信するとともに、移住支援情報や、移住後の困りごと等に対応するための情報を発信。



## すべての人の人権が尊重されるまち

年齢、性別、障害の有無、国籍、民族、生まれや生い立ちに関係なく、全ての人がお互いを認め合い、より豊かな人間関係が形成されることを目指して、啓発活動等に取り組んでいきます

少子化、国際化、情報化等社会が様々に変化中、考え方や生き方が多様化しています。

差別と偏見のない、人権が尊重される明るい社会を築いていきます。

### ●主な取組

#### 人権のつどい

北区「人権のつどい」では、いじめ、LGBT、多文化共生社会、子ども虐待、障害など様々なテーマを通じた講演等を実施。



#### 人権月間

人権が尊重される明るい社会を築いていくため、学校や地域、職場などにおける人権教育・啓発の取組を推進。



## 区民主体で取り組む地域活動があるまち

個人のライフスタイル、価値観の多様化や地域社会の変化に対応し、“つながり”による多様な取組を進めていきます

単身世帯の増加やライフスタイルの変化など、様々な要因により自治会・町内会加入率の減少が続いており、担い手不足などの課題が生じています。

区民一人ひとりが地域コミュニティを育てていきつなげづくりや、PTA や、学区内の若い世代の方々が企画するイベント等をサポートしていきます。

### ●主な取組

#### 学区まちづくりビジョン

学区民が自らの学区の課題や方向性を共有し、まちづくりを進めていく指針となる「学区まちづくりビジョン」を策定。



#### 北区民ふれあいまつり

地域や各種団体等により運営される“模擬店やブース”，“舞台発表”，豪華景品が当たる“おたのしみ抽選会”を設け、約9,000人の来場者が来場し会場を賑わす北区最大のイベント。



## 健康で安心して暮らすことができるまち

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう取り組んでいきます

少子高齢化が進行しており、北区は高齢化率が京都市で3番目に高い区です。

あらゆる世代に健康への関心を高めてもらい、「健康寿命」の延伸を図るため、全世代を対象とする健康づくりに取り組みます。

また、高齢者が住み慣れた地域で心身共に健康で、生きがいを持ち、安心して暮らすことができる環境整備などに取り組みます。

### ●主な取組

#### 健康長寿のまち・北区

区民がいきいきと健康で過ごせるまちづくりを目指し、北区オリジナル健康体操「Happy☆キタエちゃん体操」や「インターバル速歩」の普及啓発等、区民ぐるみの健康づくりを推進。



#### 北区高齢すこやかステーション

高齢者に関わる多様な機関（介護事業所、病院、銀行、コンビニなど）が「北区高齢すこやかステーション」として登録（341箇所（令和2年8月末）し、高齢者の見守りや情報の提供、関係機関へのつなぎなどを実施。



## 地域ぐるみで支え合う子育て環境のあるまち

多くの地域住民等が子育て支援に参画し、子どもの成長や子育てを地域全体で温かく見守り、  
支え合えるよう取り組んでいます

社会全体で出生数が減少する中、北区でも子どもの数は減少しています。一方で、子育て家庭の身近な場所で子育てサロンや交流が行われています。

子育て家庭の孤立防止や育児困難感の軽減のために、妊娠中や産後早期から子育て支援の場につながり、安心して出産・育児ができる環境を整えます。

### ●主な取組

#### ニコニコ北っ子「つながるフェスタ」

様々なふれあい遊びを行いながら、赤ちゃん・保護者と主任児童委員等の地域の方々とが出会い、交流するニコニコ北っ子「つながるフェスタ」。

#### 新生児等訪問指導事業(こんにちは赤ちゃん事業)

保健師や助産師や保育士が生後4箇月までの乳児のいる家庭訪問し、赤ちゃんの体重測定や健康状態の確認、お母さんの産後の体調や生活、育児等について相談を実施。



## 災害に強く安心して住み続けられるまち

区民一人ひとりの防災意識と災害対応力を向上させ、要配慮者等の避難時に  
地域の支え合いが十分に発揮されるよう地域防災力の更なる強化に取り組めます

毎年のように、甚大な被害をもたらす異常気象が常態化し、北区内でも多くの被害が発生しています。高齢化社会が進展する中、大規模な自然災害に備える重要性はますます高まっており、また、ウイズコロナ社会の中で、感染防止対策を講じた避難所運営など、今までにない対策も求められています。

災害による被害軽減のために、コロナ禍での災害対策や高齢者、妊産婦、障害のある方等の要配慮者への支援の視点を取り入れた訓練、啓発を行い、自主防災組織をはじめとした地域におけるつながりづくりに取り組みます。

### ●主な取組

#### 北区総合防災訓練の実施

行政機関、地域団体、住民が連携して、コロナ禍での避難所運営・ペット避難・救出救護訓練等、大規模災害に備えた訓練を実施。参加者が自助、共助、公助の役割を認識することにより、防災意識の向上、地域防災力の強化を推進。

#### ハザードマップ等を用いた「正しい避難行動」の啓発

地域の自主防災組織、高齢者、女性会等の集会や妊産婦対象の教室等の場において防災研修を行い、コロナ禍における住民一人ひとりの「正しい避難行動」を啓発し、防災意識の高揚を推進。



## 安心安全なまち

誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれる  
おもてなしのまちづくりに取り組みます

市民生活の一層の安心安全の実現及び東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催を見据えた観光旅行者等の安心安全の向上を目指します。

### ●主な取組

#### 北区安心安全の日

毎月15日を「北区安心安全の日」と定め、犯罪や交通事故、火事などのない安心安全なまち北区を実現するため、地域・大学及び関係機関がオール北区で区民一人ひとりの安心安全への意識を高める取組を実施。

#### 固定電話機用啓発ポップ(高齢者の特殊詐欺被害防止)

手口が多様化する特殊詐欺から高齢者を守るため、北区民生児童委員会と北警察署、北区役所が連携協定を締結し、老人福祉員とも連携しながら特殊詐欺被害防止に向けた取組を強化。防犯機能付き電話機の普及促進や「固定電話機用啓発ポップ」の配布による注意喚起を実施。



## 障害がある人との交流があるまち

障害がある人もない人も、誰もが地域で安心して自分らしく暮らし続けていくための支援を  
充実していきます

北区には、京都ライトハウスや京都聾啞院を前身とする京都府立盲学校が立地しています。

障害のある人が、地域で自立した生活を営み、様々な分野の活動に参加できるよう、関係機関が連携して取組を進めていきます。

### ●主な取組

#### フナオカスタンダード

誰もが共に楽しむ関係が日常のスタンダードになるようにとの思いで毎年続けられているお祭り。様々な模擬店や体験コーナー、ステージ企画などがある。

#### 区役所月一販売会

北区内にある障害者福祉サービス事業所等が交流を深め、北区内の障害者福祉の前進を目的に、北区役所内の各事業所で制作した物品やお野菜等の販売会を実施。



## 大学の力がいかされるまち

大学が持つ知恵や学生の力をより一層まちづくりに活用するとともに、  
地域住民の一員である大学生と地域の絆をより深めていきます

北区には4つの大学(大谷大学, 京都産業大学, 佛教大学, 立命館大学)があり、  
留学生も含めて約4万人が在籍しています。  
北区のまちづくりの課題解決に向けて、区民, 団体, 大学等が協働して取り組ん  
でいきます。



### ●主な取組

#### 北区における大学地域包括連携協定

北区内の4大学と北区役所の間では、地域コミュニティの活性化, 安全安心の推進,  
地域・社会貢献できる人材の育成, 健康長寿, はぐくみ文化の創造など様々な分野  
で協定を締結。大学, 行政機関, 地域の連携を強化。



#### 大学生によるラジオミックス京都を使った情報発信

北区内の4大学に通う学生が、生活に役に立つ様々な情報を楽しく届けるラジオ番  
組を製作。北区で仕事や地域活動に取り組む方に地域の魅力や取組への想い等を取  
材し、情報発信を行う。



## 地域に根差した生涯学習・文化活動のあるまち

まちの魅力やまちへの愛着を高めるかけがえのない地域資源を次世代へ継承するとともに、  
まちづくりの様々な場面でいかしていきます。

世界遺産である賀茂別雷神社(上賀茂神社)や鹿苑寺(金閣寺)などの神社仏閣をはじめ、豊臣秀吉によって築  
かれた御土居, 伝統的なまちなみなど歴史的な文化財や, 五山の送り火, 葵祭, やすらい祭などの伝統行事, 地  
蔵盆や松上げ, どんど焼きなど地域に根付く数多くの文化を受け継いでいきます。

### ●主な取組

#### 北区 WA のこころ創生事業

家族や地域の絆, 先祖を敬い子孫・未来に思いを致す心, 自然への深い感謝の念な  
ど, 「日本のこころ」を次世代に継承していくために, 北区に縁のある“ホンモノ”  
の伝統文化の魅力発信等を行う。



#### 北区魅力再発見事業

地域住民と参加者のふれあいの場を創出するとともに, 北区の魅力を外に発信す  
ることを目的に, 北区ならではの魅力溢れるスポットを散策する「北区魅力再発見  
事業」を実施。



### 北区の特徴ある産業をいかした活力あるまち

北区の自然環境や歴史文化等の地域の特性に育まれた、農林業や伝統産業、区民の生活を支え賑わいを創出する商業等、それぞれの特徴をいかす取組を進めます。

インターネット販売等の普及や生活様式の変化により、伝統産業、農林業、商店街等を取り巻く環境が大きく変化しています。

多くの方々が「ホンマもん」を体験できる場や農作物の恵み、木材の心地良さに触れる、食育・木育を身近な場所で体験できる場を提供します。



西陣を中心とした  
地域活性化ビジョン



商店街の夏まつり



北山丸太セリ市の風景

### 賑わいある拠点があるまち

便利で快適な生活基盤の整ったまちの創造に向けて、ハード・ソフトの両面から、必要な施策・事業を進めていきます

北区内外の移動を支える、安全で利便性の高い交通環境、子どもから高齢の方まで様々な人の集い・遊びの場となる公園づくりなど、都市活動を支える都市基盤を整備します。

楽只市営住宅において、団地再生事業の実施に伴い生み出される用地を有効活用して、北区をはじめとする本市北西部地域の活性化に資するため、民間活力もいかしながら、魅力と活力溢れる賑わいを創出していきます。

#### ●主な取組

##### 船岡山を活かした魅力創出事業

金閣寺に集中している観光客の分散化を念頭に、今年度からの3年間で、船岡山及びその周辺エリアの魅力を引き出す「船岡山を活かした魅力創出事業」を実施。



大宮交通公園

### 3. ライフステージごとの取組

～あらゆる世代と共に基本計画を推進するために～

北区は、各学区における意欲的な地域交流行事、医療・介護機関、銀行等が連携した高齢者の見守り活動等、様々な領域で活発な地域活動が行われるなど、地域コミュニティが持つ「つながり」が強いことに特色があります。

前章に掲げる13の目標を達成していくに当たっても、この北区の強みである「つながり」を大切にしながら、区民、地域、関係機関や事業者が一体となって取組を進めていきます。

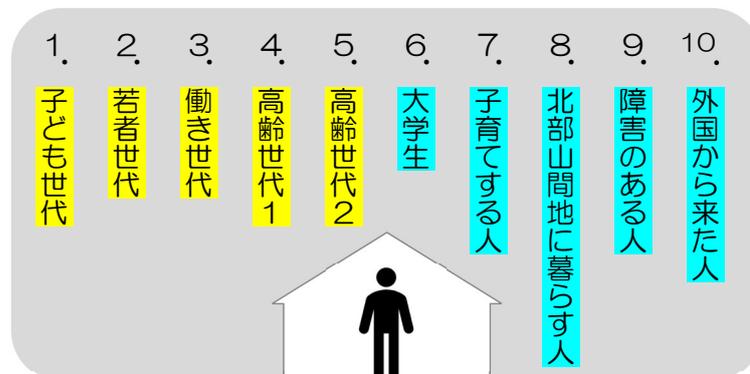
一方、全国的には、高齢化や価値観の多様化などによって、地域活動と関わりを持たない方々も一定数おり、残念ながら北区でもその傾向がみられる部分もあります。

こうした中、北区基本計画を推進していくためには、より多くの区民を巻き込み、それぞれの世代が当事者意識を持って取り組んでいくことがますます重要になるポイントです。

そこで、「つながり」の力によるまちづくりを拓げる具体的な手法として、本計画では、全ての区民を包含するような10のライフステージや属性（以下「ライフステージ等」といいます。）ごとに取組を整理し、身近なライフステージ等ごとに分けてまちとの「つながり」を示すとともに取組を再整理しました。この10のシートで、今まで以上に多くの区民の参加を得ながら「自分ごと」「みんなごと」の視点から、あらゆる世代で自発的・自然発生的に基本計画の推進が促進されるよう取り組んでいきます。

※「まち」とは、北区の「地域」を中心として、そこに住む様々な人、社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの機関、大学、企業、行政機関も含めた相互の関係により生み出される、ゆるやかな「場」を指すものであり、ハードやインフラを指すものではありません。

#### 10のライフステージや属性





## 4. 取組を推進するためのリーディングプロジェクト

本計画を推進するためには、ライフステージ等ごとの取組に今まで以上に多くの区民の皆様に関わっていただき、区民の皆様の総力を挙げて取り組んでいく必要があります。

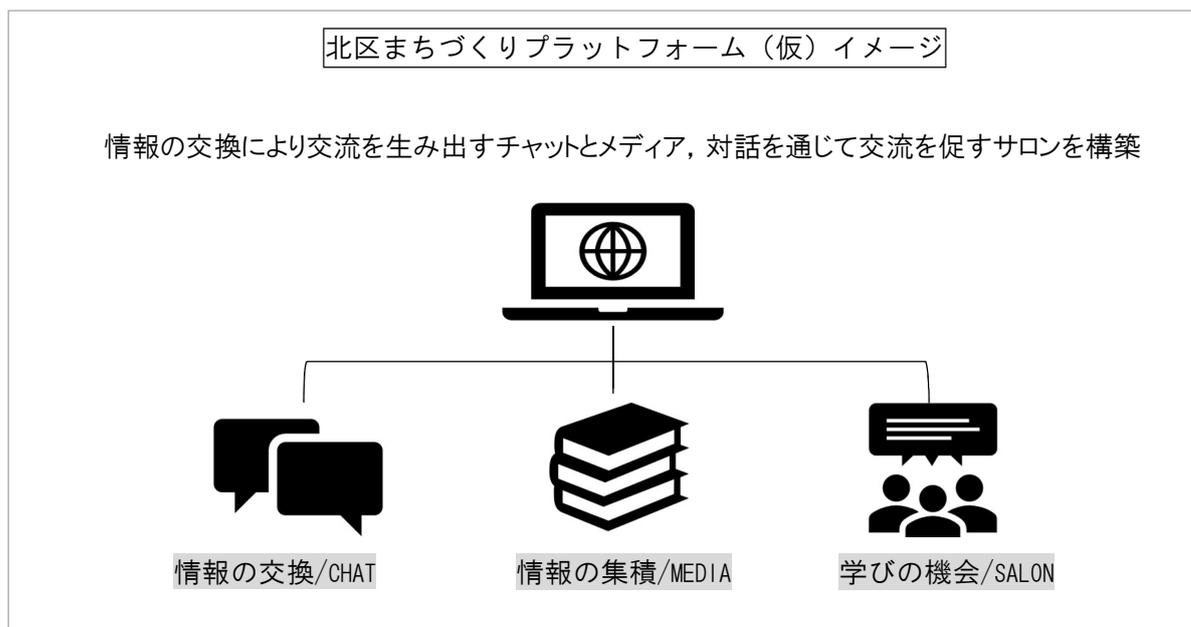
このような体制をさらに整えるために、従来型の地域活動に加え、アフターコロナ社会も考慮して、新たなオンラインネットワーク「北区まちづくりプラットフォーム」を構築します。

それによって、これまで地域活動と関わりを持ちづらかった働き世代や若者世代の方々を含む多くの区民の皆様にとって、身近で気軽な場づくりを図ります。

そこで、様々な団体・個人が互いに活動内容を紹介したり、課題を共有し、学び合う機会を用意し、北区の強みである「つながり」を益々深化させていきます。

さらに、このプラットフォームを基盤として6つの「リーディングプロジェクト」に重点的に取り組みます。

### (1) 北区まちづくりプラットフォーム



チャット  
CHAT

個々の活動を発展させるための、課題や資源の共有，相談や紹介などが気軽に行える情報交換の場を，SNSなどを活用してつくります

メディア  
MEDIA

既存メディアとの連携などにより，北区のまちづくりに関する様々な情報（事例・制度など）を集め，有効活用できる仕組みを構築します

サロン  
SALON

団体間の連携を促すとともに，新たな人材の育成を図るために，ゲストの講演や参加者間の交流など，対話を通じた理解や学びの機会を定期的につくります



参考資料

北区民まちづくり会議委員名簿

50音順, 敬称略

令和2年度

	氏名	所属
座長	志藤 修史	大谷大学 社会学部長
副座長	藤松 素子	佛教大学 社会福祉学部教授
副座長	中谷 真憲	京都産業大学 法学部教授
副座長	中井 美樹	立命館大学 産業社会学部教授
	高奥 英路	北区地域代表者会議会長(紫竹自治連合会 会長)
	水田 隆一	北区社会福祉協議会会長(中川社会福祉協 議会会長)
	北村 脩	みんなで作る安心安全なまち北区推進協議 会会長
	白瀧 雅章	北区市政協力委員連絡協議会世話人代表
	堺 紀恵子	北保健協議会連合会会長
	池田 岩太	北区保育園園長会代表(上賀茂こども園)
	藤井利都子	小学校PTA北上支部理事校 待鳳小PTA 会長
	西村 由美	中学校PTA北・上支部理事校 衣笠中学校 PTA会長
	谷口みゆき	北区「おやじ・おふくろの会」連絡会会長
	滋野 正道	京都わかもん会議発起人
	國安 紗世	みんなの家代表
	石川 裕也	京都北山丸太生産協同組合理事長
	十塚 元信	JA京都市 大宮支部長
	寺田 敏紀	西陣R倶楽部事務局次長
	向井 弘美	地域公共政策士
	木村 博美	NPOコミュニティラジオ京都 放送局長
	石本 浩治	京都市地域の空き家相談員
	坂口 聡	そらいろチルドレン代表
	日比野裕加里	京都ライトハウス 就労支援事業所FSTモニ 一副所長
	平元 俊一	公募委員
	田中 敏雄	公募委員

令和元年度

	氏名	所属
座長	志藤 修史	大谷大学社会学部長
副座長	藤野 敦子	京都産業大学現代社会学部長
副座長	松岡 千代	佛教大学保健医療技術学部教授
副座長	河角 直美	立命館大学文学部准教授
	高奥 英路	北区地域代表者会議会長(紫竹自治 連合会会長)
	水田 隆一	北区社会福祉協議会会長(中川社会 福祉協議会会長)
	柴垣廣一郎	みんなで作る安心安全なまち北区推 進協議会会長
	片山 輝男	北区市政協力委員連絡協議会世話 人代表
	堺 紀恵子	北保健協議会連合会会長
	池田 岩太	北区保育園園長会代表(上賀茂こど も園)
	勝田 智幸	小学校PTA北上支部理事(元町小P TA)
	中嶋 康喜	小学校PTA北下支部理事(柏野小P TA)
	宮川 勇	中学校PTA北・上支部副理事(旭丘 中PTA)
	谷口みゆき	北区「おやじ・おふくろの会」連絡会幹 事
	内藤 郁子	特定非営利活動法人京都景観フォー ラム理事長
	森下 武洋	京都北山丸太生産協同組合理事長
	十塚 元信	JA京都市 大宮支部長
	寺田 敏紀	西陣R倶楽部事務局次長
	向井 弘美	地域公共政策士
	木村 博美	特定非営利活動法人コミュニティラジ オ京都 放送局長
	吉田 光一	京都市地域の空き家相談員
	滋野 正道	株式会社基地計画取締役役員/京 都わかもん会議発起人
	國安 紗世	みんなの家代表
	平元 俊一	公募委員
	坂口 聡	公募委員

計画策定の経過

平成30年	2月	平成29年度第2回北区民まちづくり会議	令和2年	3月	令和元年度 第2回北区民まちづくり会議
	9月	平成30年度第1回北区民まちづくり会議		11月	令和元年度 第1回北区民まちづくり会議 座長・副座長会議
	10月	北区民まちづくり会議 第1回学習会		12月	令和元年度 第1回北区民まちづくり会議
	11月	北区民まちづくり会議 第2回学習会		○月	
	12月	北区民まちづくり会議 第3回学習会		○月	
令和元年	1月	北区民まちづくり会議 第4回学習会	○月		
	3月	平成30年度第2回北区民まちづくり会議	○月		
	5月	平成31年度第1回北区民まちづくり会議	○月		
	6月	北区民まちづくり会議「人口減少部会」 北区民まちづくり会議「防災部会」	令和3年	○月	パブリックコメント(～○月)
	8月	北区民まちづくり会議「高齢化部会」	○月		
	9月	北区民まちづくり会議「文化・観光部会」	○月		
	12月	北区民まちづくり会議「共同部会1」 北区民まちづくり会議「共同部会2」	○月		

裏表紙